

(別紙)

## 第三者評価結果

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㉖・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>宇都宮市ホームページ、入園希望者に配布する園紹介冊子に明文化しています。</p> <p>保護者に対しては、入園面接会に説明を行い、4月の園だよりに掲載や、園での姿を写真と文章にしてまとめた成長記録ファイル「たけのこ」の巻頭に差し込むことで、保護者への周知を図っています。</p> <p>職員は、朝礼で保育理念・保育方針・保育目標・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を唱和することで、子どもとのつながり、保護者との関係づくりを日々念頭において、保育を行っています。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・㉗・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、施設長連絡会議で、宇都宮市の方策、宇都宮市保育課の取組、課題等を職員会議等で説明、資料をファイルし、閲覧できるようにすることで、職員に周知しています。</p> <p>「ぜんほきょう」・「保育の友」等を読み、園の動向を把握するように努めています。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	㉘・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>宇都宮市保育課が分析した、経営課題を個人目標シートに落とし込み、園長が総括し、職員は、この組織目標をもとに、目標面談シートを作成し、課題に取り組んでいます。</p> <p>会計年度任用職員は、年間目標について、園長（園長独自のヒアリングシート作成）と面談を行っています。園長は、職員の確保と定着、育成に関する基本的考え方と、主な取組（やりがいや、達成感をもって保育を行う気持ちを持つ）を掲げていることから、園の課題や問題点を明確にすることで、課題解決に向けた取組を具体化しています。</p>		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されてい	㉙・b・c

	る。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>宇都宮市では、基本計画「第6次宇都宮市総合計画」において示しています。保育事業関係は、「第2次宮っこ子育て・子育て応援プラン」及び「第2期宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」を策定され、中・長期的計画を明確にしています。</p> <p>園長は、年度初めに、口頭・書面により説明を行い、計画に見直し、変更があった際には職員会議等で伝えています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期的な計画に反映した、「全体的な計画」を作成し、子ども、一人一人の様子を踏まえ、職員間で話し合いを行い、年間指導計画、年間食育計画、楽しく遊んで体力づくり計画を作成しています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの発達状況により、事業計画の策定、実施状況の把握や評価の見直しを半期ごとに行い、実情に合わせて変更し、会議で情報共有しています。しかし、短時間職員アンケートでは、「現場の意向を反映していますか」「会議や研修で理解を深める取組を行っていますか」の回答は、低い結果となっていることから、職員の参画や意見の集約・反映の仕組みを確認することが望まれます。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画について、入園説明会、年2回のクラス懇談会で、園長、担任が説明を行っています。</p> <p>園だより、クラスだよりは、クラス担任が作成し、園長、総括が確認をした上で、園だよりは、毎月配布、クラスだよりは3か月に1回配布、年間行事予定や保育内容を保護者に周知することで理解を図っています。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「宇都宮市の保育所における質の向上のためのアクションプログラムⅡ」に基づき、保育実践の改善及び保育の質の向上の推進として、園内研修の中で、年2回保育士の「保育所保育指針に基づく自己チェックリスト100」や「人権のためのセルフチェックリスト」を活用して、自己評価を実施、集計結果を職員に周知し項目ごとにグループディスカッションを行い、園長がアドバイスをするなど、課題の検討を行い保育に活かす取組を行っています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確	a・b・c

	にし、計画的な改善策を実施している。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画・年間指導計画・年間保健計画・楽しく遊んで体力づくり計画・年間食育計画は、半年ごとに見直し、次年度の計画に反映させています。</p> <p>職員アンケートで、「組織の課題やサービス内容について、職員も参加して結果の分析・改善を行っている」の回答は、短時間職員において低い結果となっていることから、全職員が見直しをできる機会が持てる取組が望まれます。</p>		

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、令和5年4月より、園長に着任し、基幹保育園としてやるべき事を明確にするとともに、職員には、新年度事務打合せ、職員会議等で園長としての役割と責任について表明しています。災害時の各種マニュアルを作成し、特に、「竹林保育園動員区分表・(火事・伝染病・事故)」1次集合グループから3次集合グループを色分した(保育課・園長・職員)連絡体制を構築しています。また、平常時や有事(災害・事故等)における園長の役割と責任について、不在時の権限委任等についても明確化しています。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ <del>b</del> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、年度初めに「保育従事者の心得」を説明し、保育士としての遵守する事項についての説明を行い周知しています。</p> <p>保護者には、入園時に個人情報の保護について説明を行い、同意を得るようにしています。短時間職員の「できている」の回答は50%と低い結果となっています。短時間職員に守らなくてはならない法令・倫理について理解を深める取組が望まれます。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、職員の確保と定着、育成に関する基本的な考え方と取組の中で、基本的な考え方等を挙げており、(やりがいや達成感をもって保育を行う気持ちを持てる。スキルアップを図るため、研修等の受講機会を整える。)園内・外部研修の案内を行い、研修への参加を促し、経験に合った研修に参加できるようにしています。</p> <p>園内研修では、「保育所保育指針に基づく自己評価チェックリスト100」で評価された内容を把</p>		

握し、その後の研修に反映させる取組を行うことで保育の質の向上に努めています。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>労務・人事・財務面については、宇都宮市保育課が行っています。</p> <p>安全衛生委員会年間計画（安全衛生方針・安全衛生目標・活動内容）を記載し会議録を作成しています。安全衛生委員会を定期的に行い、園内巡視の結果をもとに、職員の意見を聞くことで、園内や業務内容の改善に努めています。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>新規採用職員には、1年間OJT担当職員が指導育成を行うための、OJT制度があります。取組の中で、振り返り・反省会が定期的に行われています。</p> <p>OJT担当者は、新規採用職員に適切な指導ができるように、OJTサポーター研修を受講する制度が構築されています。</p> <p>宇都宮市職員研修計画に基づき、職員がキャリアに合った研修を受講し、研修報告書を作成、回覧しています。オンライン研修の受講が推進され、多くの職員が参加できるように促されています。</p> <p>園長は、やりがいや、達成感を持って保育を行う気持ちを持つ働きやすい環境を整えています。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、目標管理シートをもとに、年3回園長と面談を行い、目標の進捗確認、自己評価の確認を行い、人事制度に基づき、適正に評価を行っています。結果を本人にフィードバックしています。</p> <p>宇都宮市の人事評価制度に基づき、公平な評価システムが構築されており、会計年度任用職員は、宇都宮市の人事評価シートに基づき、園長と面談を行っています。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、心身の健康と安全の確保については、宇都宮市人事課による年1回メンタルヘルスチェックを実施しています。また、健康相談室の情報案内も配布しています。</p> <p>毎週水曜日をスイッチオフデーとし、全職員が定時退勤できるように取組んでいます。</p> <p>園長は、職員の意見・要望・家庭状況を把握し、業務に反映させ働きやすい職場づくりに取組んでいます。しかし、職員の意見としては、休暇が取りづらい、休憩時間の確実な取得など意見</p>		

<p>があります。</p> <p>職員が常に仕事に対して、意欲的に仕事ができる環境を整えることが望めます。</p>		
<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
17	<p>Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>正規職員は、園の組織目標から、職位に応じた個人目標を設定し、個人目標管理シートを作成、園長との面談を通して、進捗状況、自己評価の目標達成を確認しながら、園長は、適宜アドバイスをしています。</p> <p>会計年度任用職員は、園長独自で作成した（職員ヒアリング質問項目）を活用し面談を行うことで、目標達成できるようにアドバイスをしています。</p>		
18	<p>Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「宇都宮市の保育所における質の向上のためのアクションプログラムⅡ」が策定され、職員の資質・専門性の向上として、「保育所等職員研修体系」（園内研修・キャリアアップ研修・外部研修）が作成され、園長は、職位や経験年数に合った能力を身につける為の、外部研修の促進と受講しやすい環境の整備に努めています。</p>		
19	<p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>会計年度任用職員は、任用時に園長が「会計年度任用職員任用時研修資料」をもとに、研修を行っています。希望者は、宇都宮市人事課による接遇研修も受講しています。職員には、研修案内があった際、研修内容を会議や回覧等で周知し、適宜受講しています。</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生の受入れは、宇都宮市保育課を通して実習生、インターシップや、中高生の受入れをしています。「実習生・中高生・ボランティア受入れフローシート」に基づき、受入れ窓口担当者、指導者が決められ受入れ体制が整備されています。</p> <p>令和5年度は、7回の受入れを計画しています。</p> <p>責任実習では、実習生が計画を立て、園長・総括が確認し、実習が効果的な実習になるよう取組んでいます。反省会を実施し、反省会記録に記載しています。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育理念・保育方針・保育目標を掲げるとともに、園での取組や子育てサロンやなかよしクラブの様子を紹介し、地域だよりを地域に向けて発行しています。</p> <p>宇都宮市ホームページに、園の情報等を公表、また、第三者評価を平成28年に受審し、結果を公表しています。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>宇都宮市監査計画により、園の事務、経理について、2年に1度、宇都宮市の定例監査が実施されています。児童福祉施設（保育所）用一般指導監査を定期的に行っています。結果をホームページに公開しています。</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域だよりを年3回発行し、地区市民センターや、近隣商業施設に掲示し、地域を紹介しています。</p> <p>子育てサロンやなかよしクラブと交流を実施、ケアパートナーデイサービスを定期的に行き、交流をしています。保育園での活動を紹介するだけでなく、地域の人との交流で子どもの社会経験の機会をつくる取組をしています。子どもの思い出作りのためにも、世代別の交流がもてるよう取組んでいます。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生、中高生、ボランティア受け入れフローシートがあり、乳幼児とのふれあい体験も行っています。</p> <p>事前にオリエンテーションを行い、実習内容の確認注意点など指導しています。積極的に宮っ子チャレンジの中学生などの受け入れも実施しています。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>宇都宮市子ども発達センター、保健福祉総務課と情報を共有している。養育に不安のある家庭に児童相談所や、宇都宮市子ども家庭支援室など、保護者への情報提供や相談・支援が行われて</p>		

います。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>わくわく保育園体験を通して、同年齢の子どもの発達を知り、子育ての不安解消や学びで深める機会を設けています。子育てサロンやなかよしクラブの利用者を保育の行事に招待し、園児との交流を図っています。</p> <p>毎月、保育園見学の日を設定し、園の情報を発信するとともに、在宅家庭のニーズ等を把握するように取組んでいます。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域活動事業でケアパートナーデイサービスとの交流を図り、高齢者への関わりを持ち、保育や子育て支援にとどまらない地域福祉貢献ができています。</p>		

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 保育理念に子どもの最善の利益、人権尊重について明示し、毎朝唱和しています。 子ども一人一人の特性や個性を十分に考えた上で、保育の支援がされています。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	㉑・b・c
<コメント> 「個人情報の確認について」で、名前・写真・作品などの掲示について確認し、個人情報の保護に努めています。着替え時の目隠しや、プール時期の寒冷紗の設置などの工夫をしています。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<コメント> 宇都宮市ホームページや、子育て支援ガイドブックに保育園の情報を掲載しています。 地域の方を行事に招待し、散歩時などに積極的に声掛けをすることで交流を図っています。 保育所選択に必要な情報はその時提供しています。見学の希望を受付し、希望の日程に応じて対応しています。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<コメント> 入園時に重要事項説明書を用いて、適切に説明しています。 特に配慮が必要な保護者への説明は、個別に面談を行い。担当者だけでなく、園全体で丁寧に対応しています。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 転園の引き継ぎを保護者の意向を確認し対応しています。 支援の必要な家庭や子どもについては、関係機関との連携を図っています。退園の場合でも相談を受けられるよう心掛けています。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 保護者アンケート、個人面談等で、意見を聞き確認をしています。		



<p>子どもの意見を取入れた活動を行うとともに、子どもの姿や日々の保育の振り返りを行うことで保育の質の向上に努めています。子どもや保護者の意向を職員全体で確認し、周知しながら、内容の検討をしています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ <del>b</del> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情内容により、状況を整理し、対応策をフィードバックすることで、保育内容の改善をしています。第三者委員の苦情解決のための体制を整備しています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談室があり、個人懇談や個別の相談を受け付けることができます。連絡帳、連絡ノートを活用し、気軽に相談できるようにしています。</p> <p>送迎時、声掛けや、話やすい雰囲気を作り出しています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談があったら、すぐ返答するのではなく、園長・総括に報告し回答しています。相談内容から、園全体に改善が求められる内容は、早急に対応策を検討するとともに、全職員に周知しています。</p> <p>意見箱の設置、無記名アンケートの実施をしています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ヒヤリハットの担当が、ヒヤリハットの集計を毎月2回行い、年2回園内研修を実施する中で、解決策を検討しています。事例報告により、再発防止に努めています。</p> <p>園庭も、毎日職員がチェックし、安全確認をしています。</p> <p>外部講師による、勉強会を実施しています。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>宇都宮市として、「公立保育園における衛生管理」を策定しています。</p> <p>日々玩具や、物品の消毒を行うことで、感染予防に努めています。</p> <p>感染症流行時期・発生時には、掲示板等で保護者へ情報の提供を行っています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ <del>b</del> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>避難消火訓練年間計画に基づき、各災害に応じた避難の仕方について、月1回の訓練を実施しています。</p>		

保護者への緊急時の連絡において、一斉メール配信システムを導入しています。  
 定期的な備蓄品の点検、補充を実施し、非常時に備えています。  
 園外保育時の、園外保育実施計画書（園外保育フロー図）・マニュアルが作成され、園外保育時の子どもの安心・安全に努めています。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉞・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>デイリープログラムに基づいた、標準的な保育方法を文章化し実施しています。          担当が不在でも、保育の差異が少なく、一定の内容を保って保育を提供する事ができています。          各クラス保育マニュアルを整備する事で、いつでも確認できるように工夫されています。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉞・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法を文章化し、年間指導計画は、半年で評価の見直しを実施し、職員や保護者からの意見を反映させ、必要に応じて見直し、追記を行っています。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	㉞・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳未満児は、毎月個別指導計画を作成しています。          保護者との、情報交換により、子どものニーズを把握し指導計画に反映しています。          発達支援児保育ケース会議等で、全職員が状況を把握し、対策を検討共有することで、それぞれに応じた保育を提供する事ができています。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉞・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>月間指導計画は、月末に評価反省し、次月の計画時に反映しています。          保育日誌の評価に記入し、自らの保育を振り返りで、保育の質の向上にも取り組んでいます。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉞・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの状況については、年度当初に職員間で情報を共有、子どもに変化があった場合には、必ず報告し、記録に残しています。          児童票は、電子システムで管理され、全職員が確認することができます。          話し合いが、必要な事項、継続に配慮が求められるケースの場合など、職員会議・ケース会議</p>		

で確認しています。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「宇都宮市個人情報保護条例」に基づき、子どもに関する記録等は、施錠できる場所に保管しています。</p> <p>「保育従事者の心得」に明文化し、個人情報保護規程について、新年度打合せ時に、園長が説明を行うことで全職員に周知をしています。</p>		

## A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画は、保育指針に基づき宇都宮市公立保育園で統一されていますが、園の特色や地域性を活かし、子どもの発達をふまえた保育内容となるよう、職員間で検討し作成しています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ <del>b</del> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>明るく清潔な保育室は、適切な温度や湿度に保たれており、生活と遊びが充実するよう年齢に合った室内環境が整えられています。また、毎日の園内点検や週一度の遊具点検を実施し、子どもたちが怪我無く思いきり遊べるよう、安全面に十分配慮しています。</p> <p>今後も安心してくつろげる環境づくりへの取組に期待します。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園の際には、家庭での様子や生活環境を確認します。一人一人の発達を十分に理解して指導計画を作成し、個々の状況に応じた援助を行っています。</p> <p>園での様子は連絡帳や送迎時にお伝えし、職員間において情報を共有しながら、子どもの思いに寄り添った保育となるよう努めています。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	㉓・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>絵カード等、年齢に合わせた視覚的情報の掲示により、子ども自らやろうとする気持ちを大切にしています。保護者には園での取組についてお知らせし、基本的な生活習慣が無理なく身につけられるよう、園と家庭とで連携を図りながら進めています。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの	㉓・b・c

	生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士は子どもの声に耳を傾け、興味や関心の幅が広げられるよう環境設定に配慮しています。また、散歩や戸外遊びの時間を十分に確保して体を思いきり動かし、友達と活動を共にすることの楽しさを味わいながら心身の調和を図っています。</p> <p>園全体での行事（夏祭り他）や併設されている子育てサロンやなかよしクラブとの交流など、異年齢児と関わる機会を通して、相手を思いやる心も育まれています。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>看護師を含む複数の職員が配置されており、個々の発達段階や特性を十分に理解し作成された指導計画をもとに、安全面・衛生面に配慮した保育を行っています。</p> <p>清潔に保たれた保育室には、指先や体の動きに合わせた玩具やゆっくりと過ごせる量のスペースもあり、保育士との関わりの中で情緒の安定を図っています。</p> <p>離乳食においては、食事の量や食器などを実際に見ていただき、家庭においても安心して育児ができるよう、保護者との関わりを大事にしています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳未満児の保育は、個々の発達を考慮した個別の指導計画のもと、基本的な生活習慣が身につくよう一人一人に合わせて進めています。保育室には指先を使って遊ぶ玩具が多く準備しており、子どもの興味を引き出しながら発達を促しています。自分でやろうとする気持ちを大切に受け止め、保育士との関わりの中で自我の育ちを温かく見守っています。</p> <p>送迎の際には園での様子を伝え、家庭と連携しながら安心して育児ができるよう努めています。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳以上児の保育は、各年齢に応じた保育内容を計画し、一人一人の育ちや個性を大切に受け止めながら基本的な生活習慣の定着を図るとともに、遊びや生活の中で、様々な事象に興味や関心が向けられるよう配慮しています。</p> <p>また、年齢に即した体力づくり計画を作成し、日々の保育に取り入れながら、体幹の強化やバランスの取れた体と心を育てています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>前期・後期に分けた個別の指導計画を作成し、自己を十分に発揮できるよう、子どもの状況に応じた保育を行っています。集団での活動や行事を通して、日々子ども同士が関わり、共に成長</p>		

<p>し合える環境を大切にしています。</p> <p>職員は必要な知識や情報を学ぶため研修に参加し、内容を共有して理解に努めるとともに、園全体で保育にあたり見守っています。</p> <p>保護者からの相談等にも応じ、必要に応じて専門機関と連携できる体制が整っています。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一日の生活の中で、思いきり体を動かす活動の時間とゆったりとくつろげる時間を設け、子どもの健康管理に留意した環境作りを行っています。</p> <p>朝や夕方など、年齢の異なる子どもが一緒に過ごす際は安全面に配慮し、担任と担当職員との引き継ぎにおいて、日中の様子などの情報伝達を的確に行い、保護者に伝えています。</p> <p>今後も、長時間となる園生活の環境整備に期待します。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>幼児期に育ててほしい姿を明確に作成した指導計画のもと、自分の思いを言葉にして伝え、日々の遊びや生活の中で時間や文字などに興味や関心が持てるよう、就学を見通した保育を行っています。</p> <p>豊郷南小学校との交流や就学先への申し送り・年長児保護者を対象とした講話会（親学講座）など、親子共に小学校以降の生活をスムーズに送るための取組が連携して行われています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>登園時には、体温や体調について記入した健康チェックカードを提出していただき、家庭での様子を確認しています。</p> <p>看護師が常駐しており、1日に2回、各保育室を巡回して体調管理を行っています。</p> <p>保健だよりを発行し、感染症の流行について、症状や留意する点等の情報を発信し、予防や早期発見に努めるとともに、年間を通して、怪我や病気に負けない健康な体づくりに取り組んでいます。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年に2回、健康診断や歯科健診・尿検査を実施しています。健診の際、相談や質問がある場合は事前に知らせていただき、嘱託医からの回答をお伝えして、家庭での健康管理にもつなげています。</p> <p>手洗いや食後のうがいなど、園生活の中で習慣となるよう進めています。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アレルギー疾患のある場合は、かかりつけ医師の診断による生活管理指導表の提出を求め、そ</p>		

<p>れに基づいて保護者と面談の上、生活や食事内容を決定します。</p> <p>給食やおやつは、アレルギー除去食で対応しています。毎朝、その日の除去献立を職員間で確認し、配膳の際は、調理担当者が該当クラスへ運び担任に手渡しするなど、細心の注意を払い誤食防止に努めています。</p> <p>個別のファイルを作成し、アレルギー疾患・慢性疾患に関する書類や緊急時の対応等の情報を管理して、職員間で共有しています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>幼児期において、食を営む力の基礎を育むことに目標をおき、栄養バランスの取れた和食中心の食事を提供しています。食事の際は、年齢に合わせた椅子やテーブル・食具を使用して落ち着ける環境を用意し、食生活の習慣が身につけられるよう配慮しています。</p> <p>畑で育てた野菜を収穫して家に持ち帰ったり、人気のある給食の献立レシピを紹介したりするほか、手紙や写真などで園での食育活動の様子を保護者に発信しています。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を供している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自園調理の給食やおやつは、行事や季節が感じられる献立を多く取り入れ、安心安全な旬の食材を選択して提供しています。</p> <p>発達や発育を考慮した離乳食の対応や年齢に応じた食事形態など、保育士と給食担当職員で話し合う場を設け、食事の様子や残食状況についても共有しています。</p>		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>その日の活動内容は保育室入り口の連絡ボードに記載し、活動のねらいをお知らせしています。日中の様子は送迎時や、連絡ノートに記入してお伝えし、子どもの成長を共有しています。</p> <p>卒園の際には、園での姿を写真と文章にしてまとめた成長記録ファイル「たけのこ」を、たくさんの思い出と共にお渡ししています。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子育てに関する、不安や悩みなどの保護者からの相談は、個別面談の時間を設け、心配なくお子様と向き合えるよう、担任保育士を中心に職員間で情報を共有しながら丁寧に対応しています。保育参観や行事の際など、保護者同士が交流できる機会もありますが、今後も、保護者が安心して子</p>		

育てできるための取組を望まれます。		
A ⑱	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>送迎の際は、子どもだけでなく保護者の表情にも目を向け、家庭内での変化や兆候にいち早く気づけるよう、会話を大事にしながら状況を把握しています。</p> <p>疑わしい事案がある場合は、記録に残すとともに職員間で情報を共有し、必要に応じて宇都宮市子ども家庭支援室等の専門機関と連携を図りながら、早期発見・早期対応及び予防に努めています。</p>		

### A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A ⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士は日々の実践を振り返り、「保育所保育指針に基づく自己評価チェックリスト 100」を用いて評価・反省を行うとともに、園内研修において各行事や指導計画を見直し、保育の改善や質の向上に努めています。</p>		